

へき地におけるオンライン診療の場合の調剤制限の緩和

大分県津久見市

○求める措置の内容

へき地におけるオンライン診療において、一定の要件を満たした場合、診療所の薬を患者に提供できるように規制の緩和を行う。



津久見市保戸島

重点番号11：へき地におけるオンライン診療の場合の調剤制限の緩和
(津久見市)

提案に至った背景①

大分県津久見市

保戸島

- 保戸島は、津久見港から約14kmの豊後水道に浮かぶ島で、周囲4km、面積0.86km²
- 世帯数：355世帯・人口622人（男300人・女322人）（R03.5月末現在）
- 高齢化率 75.4%（R03.5月末現在）

津久見市保戸島診療所

- 所在地：大分県津久見市大字保戸島880番地の1
- 交通手段：津久見港～保戸島港（旅客船）約25分
- 開設者：津久見市
- 指定管理者：一般社団法人 津久見市医師会

○沿革（抜粋）

平成18年4月1日 保戸島診療所開設

平成22年7月1日より津久見市の指定管理者として、津久見市医師会が保戸島診療所の運営を行っている。

令和2年10月1日 オンライン診療運用開始



提案に至った背景②

大分県津久見市

津久見市保戸島診療所

○診療日：平日 月・火・木・金 ○診療時間 9：45～12：00・13：00～15：30

○保戸島診療所スタッフ 計6人

医師・看護師・事務…市内居住（旅客船通勤） 看護師・助手・事務…保戸島居住

○1日平均診療人数… 32人／日（R01年度実績）

○年間荒天等で船が欠航する日数… 5日～10日程度／年

⑧○保戸島診療所を取巻く状況

- ・保戸島地区に調剤薬局はない。調剤薬局は処方枚数が少なく採算が取れないため希望する事業所がない。
- ・診療日以外の急な病気、けが等で連絡があっても対処できなかった。患者は我慢するしかなかった。
- ・オンライン診療については、保戸島地区住民からも医師不在での不安の解消と、感染リスクの低減や保戸島離島航路での運休リスクを回避し、継続的に保戸島地区住民に必要な医療の確保を図るため運用を開始した。

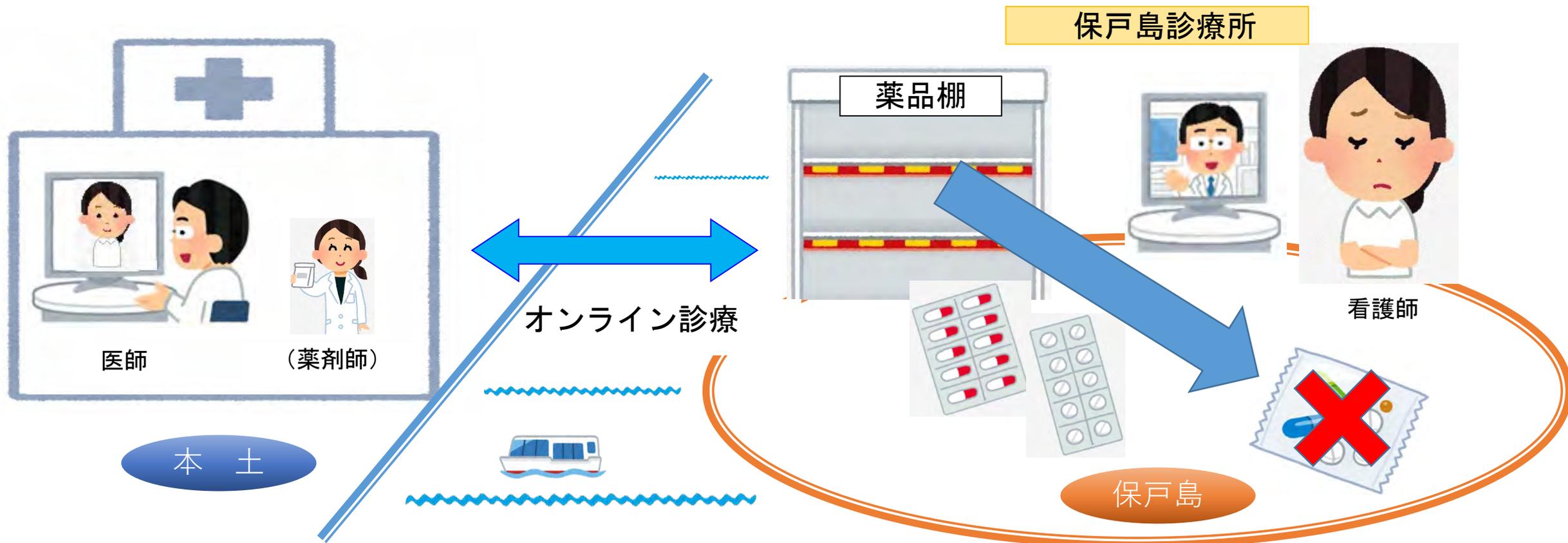
○保戸島診療所の看護師による薬剤に関する業務の状況

- ・医師がカルテ記載の処方に基づき、看護師が必要量を取り揃え、医師が確認している。
- ・薬剤管理、在庫管理、発注業務を看護師が担っている。
- ・看護師40年以上の経験があり、長年調剤業務を伴う診療所での医療に従事しており、その経験は豊富である。

提案に至った背景③

大分県津久見市

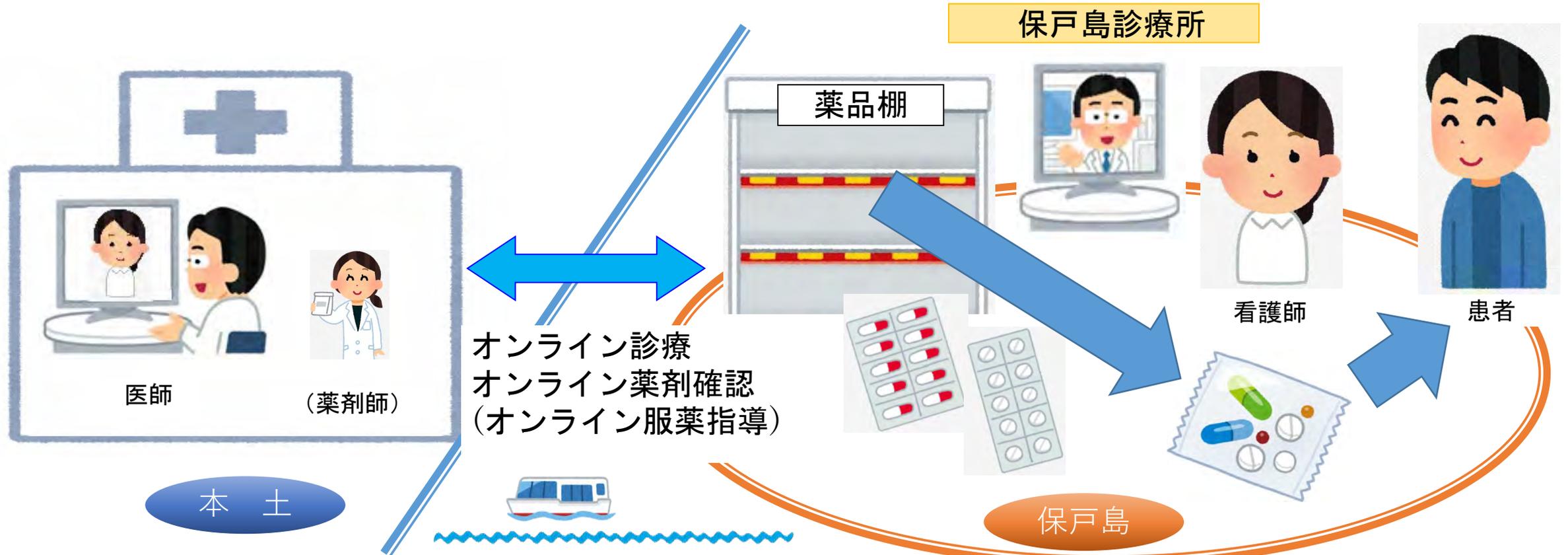
保戸島診療所医師が本土の津久見市内の病院からオンライン診療を実施する場合、当該診療所内に医師が不在となり、薬剤師法第十九条（調剤）及び第二十二條（調剤の場所）による制限のため診療所内に在庫している薬剤を患者に提供できない事案が発生している。



提 案 内 容

大分県津久見市

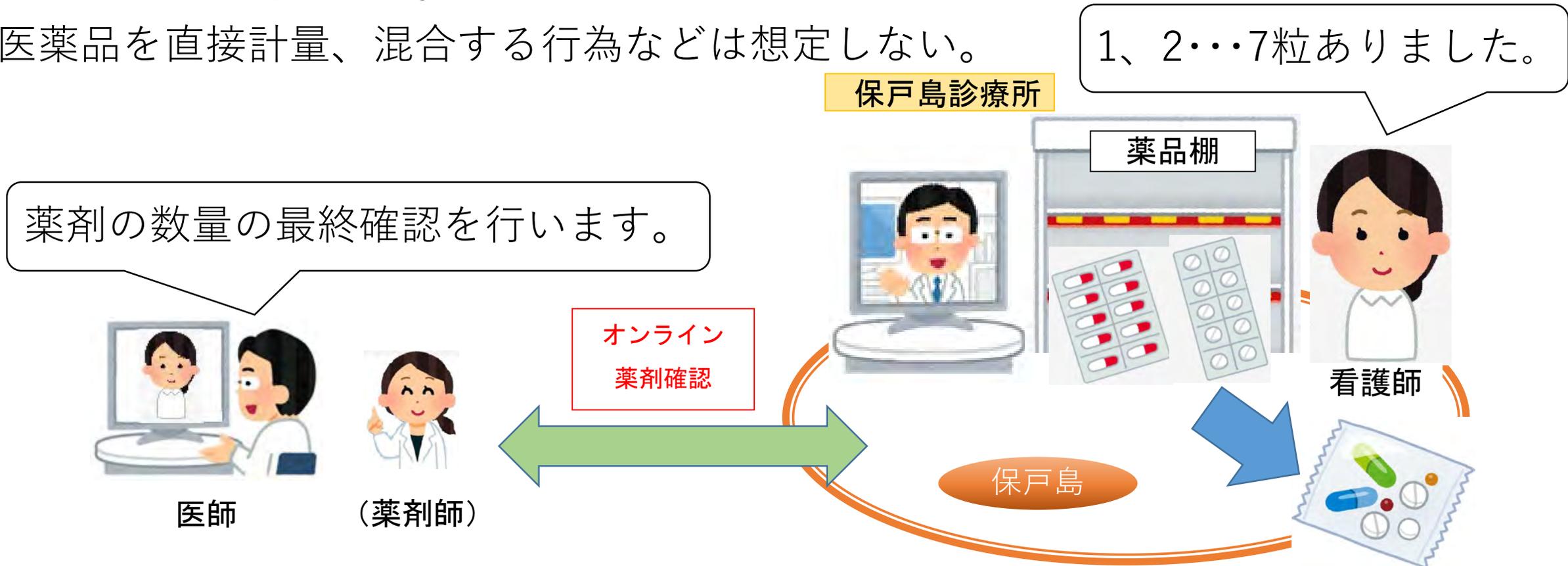
オンライン診療で診療所内に医師が不在の場合でも、診療所内に在庫している薬剤の提供が可能になれば、薬剤を配送する時間と配送経費の削減が可能になり、離島等のへき地住民の利便性向上、負担軽減及び医療の確保を図ることができる。



医師又は薬剤師以外の者が患者に提供できる薬剤の想定

- PTPシート又はこれに準ずるものにより包装されたままの医薬品の必要量を取りそろえる行為のみ。
- 医薬品を直接計量、混合する行為などは想定しない。

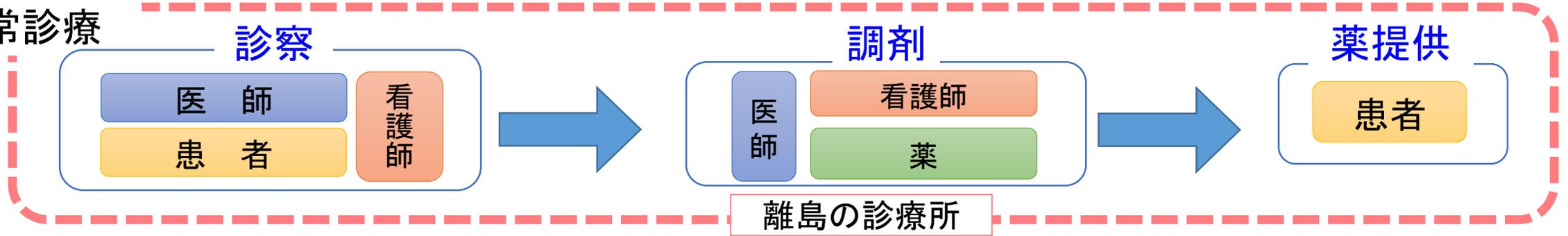
71



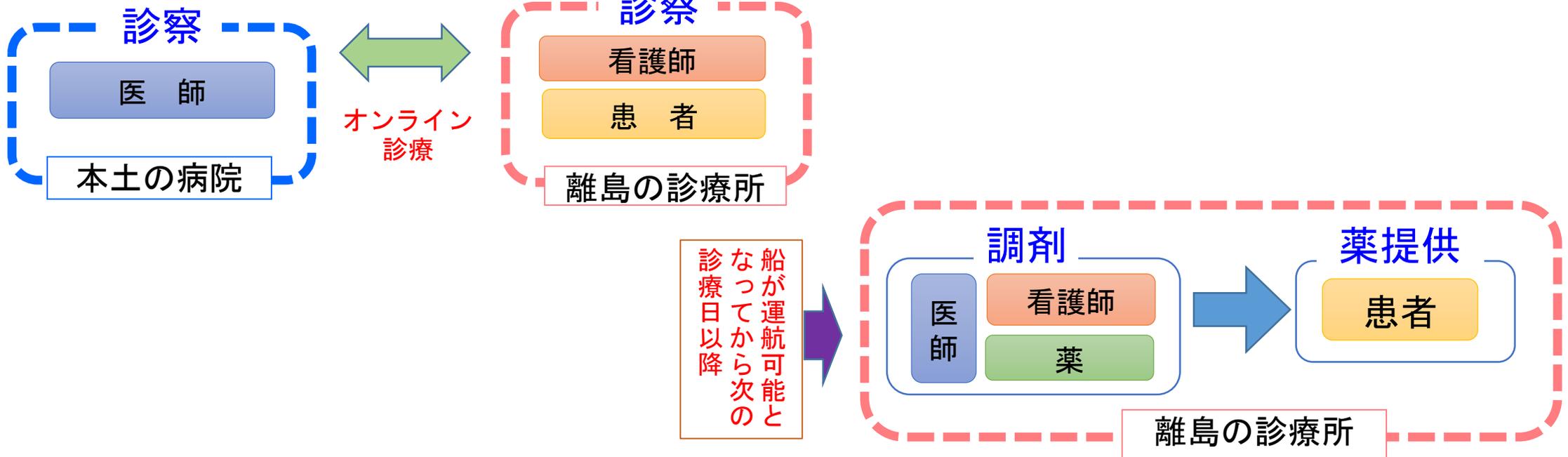
提 案 内 容

大分県津久見市

通常診療



オンライン診療【現状】

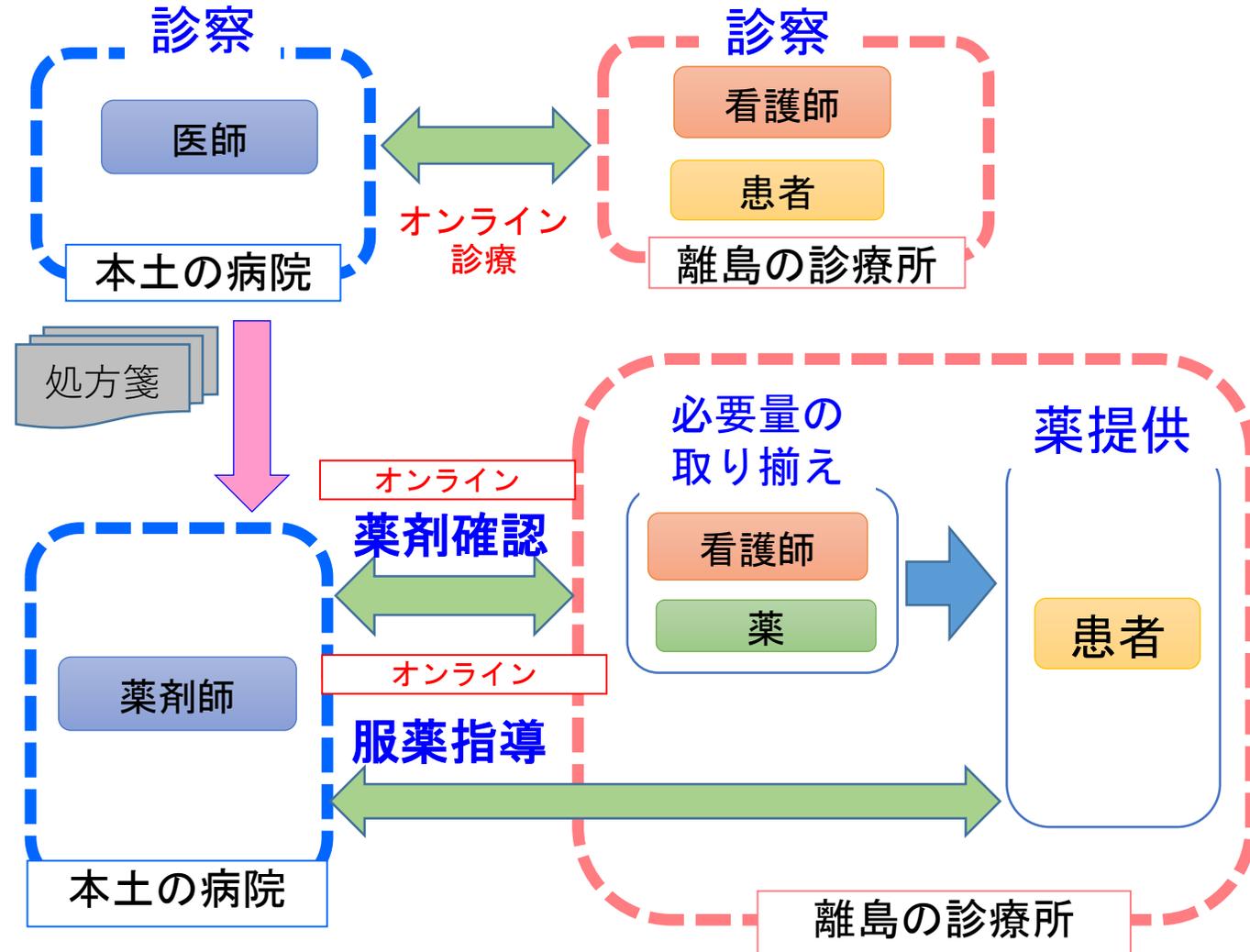
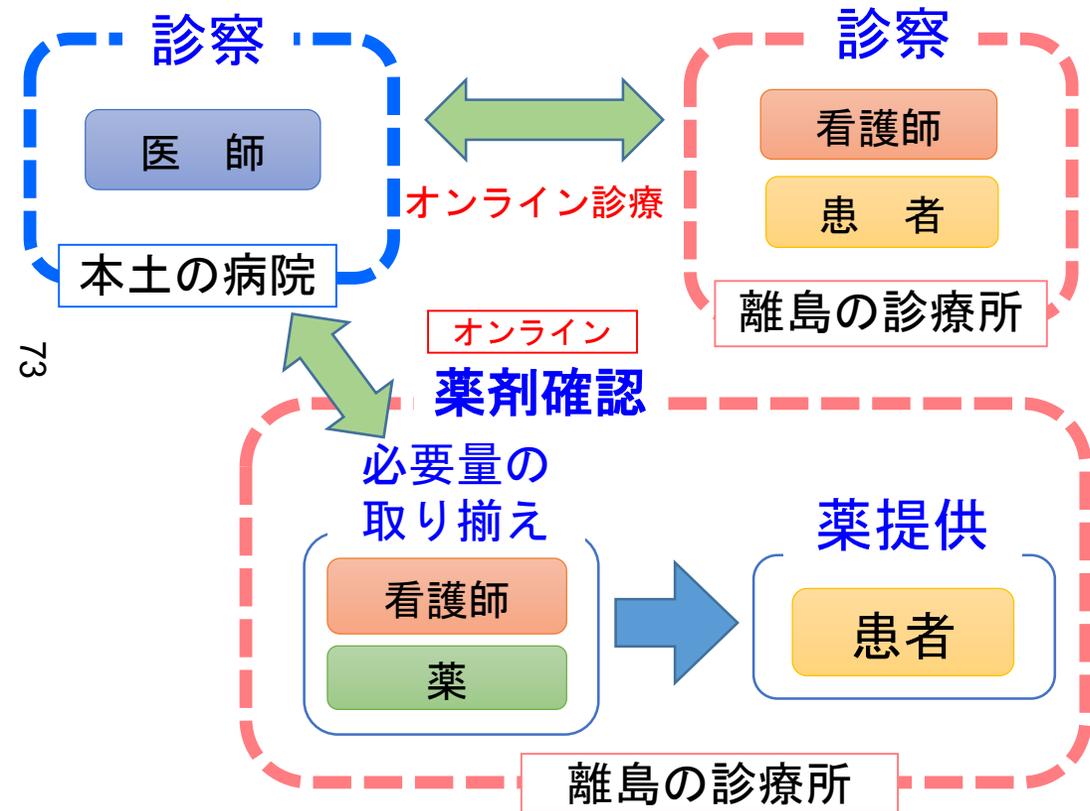


提 案 内 容

大分県津久見市

オンライン診療【提案①医師の対応のみ】

オンライン診療【提案②病院内外の薬剤師】



提案実現による効果

大分県津久見市

オンライン診療で診療所内に医師が不在の場合でも、診療所内に在庫している薬剤の提供が可能

へき地における医療機能の維持

- ◆ 離島等へき地住民の利便性向上
- ◆ 薬剤を配送する時間の削減
- ◆ 配送経費の削減
- ◆ 服薬指導との併用への発展

医療の確保が図られ
安心して住みなれた地域で
生活が送れる

